

「さがみはらみんなのシビックプライド向上計画（案）」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

1 概要

本市では、全国の自治体で初となる「さがみはらみんなのシビックプライド条例」（令和3年相模原市条例第3号。以下「条例」という。）を制定し、令和3年4月1日に施行しました。

条例は、市民のみならず、本市と関わりのあるみんなのシビックプライドを高めることを目的とし、「さがみはらファン」が市内外にあふれ、誰にでも自慢したくなるまちになることを願って制定したもので、将来にわたり誇れるまちづくりを推進するための基本理念をみんなで共有するものです。

条例第8条の規定によるシビックプライドを高める取組を効果的かつ計画的に推進するための計画として、本市がシティセールスを展開していく際の基本的な考え方や方向性について定めた「相模原市シティセールス推進指針」及びシティプロモーション事業の具体的ターゲットや取組スケジュールを定めた「相模原市シティプロモーション戦略(第1次・第2次)」を統合した上でさがみはらみんなのシビックプライド向上計画の策定を予定しております。

この度、計画を策定するに当たり、市民の皆様からのご意見を募集しました。

その結果、20人の方から33件のご意見をいただき、お寄せいただいたご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 令和4年12月15日（木）～令和5年1月23日（月）
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページ、広報さがみはら、窓口等への配架

※ 資料の配架場所

観光・シティプロモーション課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター（城山・橋本・中央6地区・大野南まちづくりセンターを除く）、各出張所、各公民館（沢井公民館を除く）、各図書館、市立公文書館、

3 結果

（1）意見の提出方法

意見数		20人（33件）
内 訳	直接持参	0人（0件）
	郵送	0人（0件）
	ファクス	12人（16件）
	電子メール	8人（17件）

(2) 意見に対する本市の考え方の区分

ア：計画（案）に意見を反映するもの

イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの

ウ：今後の参考とするもの

エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）

(3) 件数と本市の考え方の区分

項目		件数	市の考え方の区分			
			ア	イ	ウ	エ
①	計画（案）全体に関すること	8		6	2	
②	第1章 計画の策定にあたってに関すること	3			2	1
③	第2章 相模原市の現状と課題に関すること	2		1	1	
④	第3章 基本方針・基本施策に関すること	12		5	7	
⑤	第4章 計画の推進に関すること	1		1		
⑥	その他	7			1	6
合計		33	0	13	13	7

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
① 計画(案)全体に関すること			
1	<p>さがみはらみんなのシビックプライド向上計画(案)を読んで相模原市の現状、目指す未来が見えたような気がする。</p> <p>さがみはらみんなのシビックプライド条例制定後、様々な施策が行われ今まで以上に相模原が好きになった。</p> <p>市の方から積極的に市民に関わってくれる姿勢を評価している。</p> <p>最近ではSNSを使った活動を目にする機会が増え市の活動が分かりやすく伝わってくる。</p> <p>市から情報発信だけではなく、協働して発信する姿勢に強くひかれ一市民として積極的に取組に参加したいと思う。</p>	<p>いただきましたご意見を踏まえ、シビックプライド向上の取組を進めてまいります。</p>	イ
2	<p>相模原市を魅力的な政令市にするために最も取り組まなければならない課題は、若い子育て世代の方たちに是非住んでみたいと思って頂ける街になることだと思う。そうなるために必要な課題を調査検討し、全市をあげて根気よくやり遂げていく必要がある。重要な課題を絞り込んだら、それらの比較指標が政令市で1番になるぐらいのことをやってほしい。</p>		イ
3	<p>条例の前文を読むと、本市はかなり魅力的なように思えるが、シビックプライドアップの視点では、宣伝が足りないだけのように見える。</p>	<p>本計画(案)に掲げた4つのアピールポイントを中心に、多様な主体と連携しながら、様々な媒体の特性を生かした効果的な情報発信に努めてまいります。</p>	イ
4	<p>相模原市への愛着は、自然環境だけでなく、住みたくなる環境づくりから生まれていくと思う。そうした環境づくりのために、不即不離の関係にある行財政構造改革プランとシビックプライドとの両者に欠落している視点の見直しが必要であると思う。それは、文化、芸術への理解である。シビックプライド向上のためにも、市政の文化、芸術への理解の深化を希望する。</p>	<p>本計画(案)の基本施策の中で、自然や歴史、文化・芸術等の優れた地域資源・観光資源の発掘と磨き上げ、効果的な発信を挙げており、シビックプライドの向上に繋がるものと考えております。</p> <p>(※4～6まで同じ。)</p>	イ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
5	<p>いつでも交通の便が良いところで芸術・文化に触れられる街づくりを望む。生の舞台から受ける感動は、人の心にゆとりとおおらかさをもたらす。だからこそ人と人とのつながりに期待が持てる街づくりになると思う。誰もがいつでも、生の舞台と出会える環境がシビックプライドにつながると思う。</p>		イ
6	<p>相模原市に誇りをもち、日々の暮らしが楽しい街づくりを発信するのであれば、もっともっと文化に対する、文化を大切に作る街づくりを考えていくべきと考える。</p>		イ
7	<p>条例がだいぶ抽象的に冷たく感じられる。 文化・芸術活動にもっと理解のある市政であってほしい。緑区を中心に自然は売りにしている気がする。一方、南市民ホール廃止を進めるなど、文化活動や市民の活動を狭める状況に向かっている相模原市は、自ら、市民を大事にしない、魅力を感じられない市へと進めている気がしてならない。今からでも市民離れされないようもう少し市民の声を聞いて、考えてほしい。</p>	<p>本計画（案）の基本施策の中で、自然や歴史、文化・芸術等の優れた地域資源・観光資源の発掘と磨き上げ、効果的な発信を挙げており、シビックプライドの向上に繋がるものと考えております。</p> <p>なお、計画（案）の検討にあたりましては、学識経験者や公募市民等で構成する「シビックプライド向上計画策定委員会」や街頭で皆様に説明をしながらご意見を伺う「オープンハウス型調査」などを通じて様々なご意見を伺ってまいりました。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	ウ
8	<p>シビックプライド、魅力的な街の重要な要素に、市民への芸術・文化の浸透がある。あれほど破壊されているウクライナでも命を懸けて芸術文化を守ろうとしている方たちがいる。国民もそれを応援しているようだ。芸術文化を維持発展させることの大切さを自覚しているからだと思う。今、本市では、行財政改革の名のもとに南区の貴重な芸術文化の拠点である相模原南市民ホールがなくされようとしている。シビックプライドを向上させようとする視点からすれば、南市民ホールは絶対に残さなければ</p>	<p>本計画（案）の基本施策の中で、自然や歴史、文化・芸術等の優れた地域資源・観光資源の発掘と磨き上げ、効果的な発信を挙げており、シビックプライドの向上に繋がるものと考えております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	<p>ばならない市民の憩いの場、心を豊かにさせる場所である。シビックプライドを向上させる視点からも、是非残していただきたく願います。</p>		
② 第1章 計画の策定にあたってに関すること			
9	<p>SDGsを謳いながら、どこにも「ユニバーサルデザイン（UD）への言及が見られないのはなぜか。多様性を保証する社会整備においてUDの導入は欠かすことのできない視点であり、国の法整備から地方自治体におけるUD施策は義務化されているにもかかわらず、本市の整備状況とまで届かぬ、意識のレベルの認知の低さに驚く。市民を大事にするシティセールスの意味合いからも施策に明確に加えるべきではないか。</p>	<p>ユニバーサルデザインにつきましては、「共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プラン」の基本施策に位置づけ、取組を推進することとしております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	ウ
10	<p>持続可能な開発目標（SDGs）を計画を結びつけること自体には反対しないが、その内容には疑問が残る。</p> <p>例えば、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」を主な目標と掲げているが、計画全体を俯瞰した際に、相模原市はその内容を勘違いしているのではないかと感じる。</p> <p>目標17が掲げる内容は、「持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化すること」であって、地域内の担い手とのパートナーシップを意味しない。先進国の責務として、貧しい国々との格差解消に向けてパートナーシップをとるべきだというのが、その内容である。これらの目標に関し、「さがみはらみんなのシビックプライド向上計画（案）」のどの部分が該当するのか、明示していただきたい。これらの目標は、地方自治体には無関係と思われるかもしれないが、例えば、技能実習制度による外国人への経済搾取に関する監視など地方自治体にも取り組むことのできる課題はあると考える。しかし、現在の「さがみはらみんなのシビックプライド向上計画（案）」では目標17への取り組みは特に盛り込まれていないように思われるので、整合性をとる必要がある。</p>	<p>持続可能な開発目標を成功へと導くためには、政府、民間、市民社会の間のパートナーシップが必要とされ、原則や価値観、共有されているビジョンと目標に根差すこのような包摂的パートナーシップは、グローバル、地域、国内、地方の各レベルで必要とされています。</p> <p>この目標17には、17.17として「さまざまなパートナーシップや資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」が含まれており、シビックプライドの向上は、この目標につながる協働によるまちづくりを進めるための根源となる重要な要素であると考えております。</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
11	<p>当該計画にSDGsを掲げるのであれば、地球環境保全に関しても取り組み、関係者へ知識の周知徹底を図るべき。</p> <p>例えば、相模原市は、令和4年度の観光大使に、ペットとして飼育されるコツメカワウソを認定したが、このような行為は生態系破壊や動物虐待を地方自治体が認める愚行である。</p> <p>なぜこのような問題が起きたかといえば、野生生物保全に関する知識や意識が関係団体・市職員に欠如していたからに他ならない。</p> <p>日本におけるコツメカワウソのペット化及びそれに伴う密猟・密輸の爆発的増加は国際問題化し、コツメカワウソがワシントン条約（CITES）付属書Iに掲載されるまでに至った。日本でペットとしての飼育が合法化されていること自体が引き起こしている問題であり、SNSインフルエンサーらがこの問題を大きくしたことは、国際的なレポートや論文でも論じられているところである。</p> <p>こうした問題は、カワウソを密猟して犯罪組織に売るタイの農村の人々との経済格差が引き起こしている問題でもあり、目標17にも潜在的に関係する問題である。</p> <p>日本人の金持ちが高額ペットを購入することで、犯罪組織に資金が流れ、国内外の人々の生活を脅かすことにもつながっている。</p> <p>そもそも、コツメカワウソ入手の合法性を立証できる確実な手段は存在しない。</p> <p>合法もしくは合法を装った個体の販売が違法なコツメカワウソの販売の隠れ蓑となり、その何十倍もの数の密輸個体の流通を許してきたのである。</p> <p>合法的な個体だからといって、自治体はその飼育を良しとすることは許されない。</p> <p>そもそも、野生動物であるカワウソをペットとして自宅で飼育するなど、本来の生態に反しており、動物虐待である。</p> <p>相模原市は問題の大きさを軽視し、知名度優先で地元で飼育されているコツメカワウソを</p>	<p>相模原市特別観光親善大使のアティ（コツメカワウソ）につきましては、飼い主様が、カワウソ本来の習性などを考慮しながら、SNSを通じて本市のPRをしてくださっているものです。</p> <p>飼い主様には、引き続き、適切な管理の下で飼育し、アティの習性や健康状態などを最優先に配慮していただくようお願いしてまいります。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	エ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	<p>観光大使に選んだが、その後、飼い主は当該コツメカワウソを野外に逸走させるという問題も起こしている。</p> <p>こうした外来種のペットは、野外に放逐されることにより、在来種の生命や種の存続を脅かす。相模原の自然を守りたいのであれば、外来種ペットの飼育は強く規制しなければならないところ、散歩で外に連れ出すことがよいことであるかのように当該コツメカワウソを観光大使に選んだことは非常に大きな問題である。SDGsを掲げるのであれば、二度とこのような不適切事例が起きないように、外郭団体に対して周知徹底を図るべきである。</p>		
③ 第2章 相模原市の現状と課題に関すること			
12	<p>市自体の強みを「矜持」として論じた。特別市制度で謳う、相模原市の近隣自治体は、多摩大学総合研究所が定義する「多摩圏」とし、合わせて同研究所の活動もウォッチされる事を提案する。</p> <p>①-1 相模原市は指定都市である。所属する指定都市市長会は、特別市制度の法制化を目指している。</p> <p>①-2 日経新聞社調査、全国市区のSDGs先進度、総合ランキングで相模原市は第5位に位置付けられた。(令和5年1月15日同紙)</p> <p>以上2点は、相模原市、市自体の強み、矜持と捉えることが出来る考える。</p> <p>② 上記①-1に付随して述べれば、</p> <p>○指定都市市長会は、近隣自治体と有機的に連携しながら多極分散型社会の実現を日本の成長エンジンの一つに捉え、特別市の法制化を目指し活動している。と理解している。</p> <p>この活動を「さがみはらみんなのシビックプライド向上計画(案)」に倣い、SWOT分析、強み+機会として以下提案する。</p> <p>提案)</p> <p>③-1、相模原市の場合、近隣自治体とは何処か。</p> <p>例えば、多摩大学総合研究所は、東京都の多摩</p>	<p>本計画(案)の基本施策において、市民等多様な主体との連携・協働による取り組みの推進を掲げており、ご提案のように多様な主体との連携・協働を図り、シビックプライドの向上を図ってまいりたいと考えております。</p>	イ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	<p>地区と神奈川県全域をあわせ、総称「多摩圏」と呼び産官学民連携に力を入れ地域活性の仕組みを多数構築しております。この多摩圏を相模原市の近隣自治体と定義する事を提案する</p> <p>③-2、私の提案</p> <p>この多摩大学総合研究所活動を視野に入れ、例えば相模原職員の方の研修を検討される事を提案する。私見では、彼らの活動は地域活性策の仕組み、仕掛けが卓越しているが、SDGs並びにESG戦略がやや疎いように思われ、相模原市の経験と実績が補完できると思う。</p>		
13	<p>アンケート結果からは小中学生の保護者世代である40代のシビックプライドが低いように感じる。子育て当事者が相模原市に不満を持っていることの表れではないかと思う。その世代ではなく、その下の世代の居住促進をし、相模原に住んでもらったとしても、10年後に結局不満を持つようになっては意味がない。発信ばかりではなく、今ある「不満」にもしっかり耳を傾ける「受信」も含めた計画にしてもらいたい。</p>	<p>本計画（案）では、シビックプライド向上に向けた取組のターゲットを「全世代」としていることから、今後の取組により40歳代も含めた全世代のシビックプライドの向上を図って参りたいと考えております。</p> <p>なお、本市では「まちかど市長室」、「わたしの提案」、「オープンハウス型調査」、「パブリックコメント」などにより、皆様のご意見をお伺いしており、市政運営の参考とさせていただいておりますので、こうした機会をご活用くださいますようお願いいたします。</p>	ウ
④ 第3章 基本方針・基本施策に関すること			
14	<p>施策における文化的な展開が感じられない。市民主体の文化拠点として歴史を刻んできた「南市民ホールの廃止」など、市民の誇りを奪って、何をシティセールスと呼ぶのだろうか？図書館の相武台分館廃止も然り、市民とともにある誇りがなければ、市外へのセールスも期待できない。</p>	<p>本計画（案）の基本施策の中で、自然や歴史、文化・芸術等の優れた地域資源・観光資源の発掘と磨き上げ、効果的な発信を挙げており、シビックプライドの向上に繋がるものと考えております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	ウ
15	<p>2001年から相模原市主催で行われている「相模原市総合写真祭」についての文言が一言も見られないのはなぜか。これまでのフォト</p>	<p>本計画（案）の基本施策の中で、自然や歴史、文化・芸術等の優れた地域資源・観光資源の発掘と磨</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	<p>シティ相模原賞受賞写真家の顔ぶれを見ても、現代写真界のトップの担い手を輩出する写真祭の「フォト」の文字もこの計画にない。JAXAとスポーツばかりに焦点を当てた施策に、文化の貧困を嘆かざるを得ない。</p>	<p>き上げ、効果的な発信を挙げており、シビックプライドの向上に繋がるものと考えております。</p> <p>なお、「相模原市総合写真祭」については、「第3次さがみはら文化芸術振興プラン」において重点項目に位置づけ、更なる充実を図ることとしております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	
16	<p>市民協働の実績がさもあるような書き方となっているが、実際に市民協働事業の提案の壁は高い。市民協働の推進について、シティセールスに留まらない、人員配置や担当課の創出など、組織改編を含めて対応を盛り込んでほしい。</p>	<p>市民協働の推進体制につきましては、「第2次相模原市市民協働推進基本計画」において基本施策に職員の配置や研修の実施などを位置づけ、取組を進めるものとしております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	ウ
17	<p>シビックプライド「概要」(案)の目指すところは、「継続居住」「転入促進」「認知度の向上」があげられ、「文化」「芸術」「教育」などには触れられていないのは不思議だ。相模原市への愛着醸成には、時間をかけて文化、芸術、教育の熟成が必要である。事実、関東圏以外では、相模原市が政令指定都市であることすら知らない人が多い。まず、文化の香がする相模原を目指してほしい。</p>	<p>本計画(案)の基本施策の中で、自然や歴史、文化・芸術等の優れた地域資源・観光資源の発掘と磨き上げ、効果的な発信を挙げており、シビックプライドの向上に繋がるものと考えております。</p>	イ
18	<p>子育てのしやすさに、商業的便利さだけでなく、公園が身近な所に小さくあること、子どもセンターや児童館の近さも嬉しい。しかし、入園前、3歳ごろの一番あそび場を必要とする年齢対象のものがなく、親同士のつながりもつくりにくい。(サロンは乳児が多い。)</p> <p>又、鑑賞や工作など、文化的な体験ができる場がほとんどないことが、「お金がある人が、お金をかけてやるもの」になっていると感じる。子どもたちには“体験”の場が必要。</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、子ども・子育て施策を検討していく上での参考とさせていただきます。</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
19	<p>(主な取組)に、団体等に属さない個人との連携・協働についてが触れられていない。たった1人の意見であっても大切にしてくれるまちであってほしい。</p>	<p>本計画(案)の基本施策におきまして、市民等の多様な主体との連携を掲げており、この多様な主体については個人も含まれているものです。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	ウ
20	<p>子ども食堂や無料塾が存在することは、子育てがしづらい事の表れでもある。中でも、無料塾については、現役の教職員がどう感じているのかを調査してもらいたい。そこに予算を割く前に公教育の充実を。</p> <p>「特色ある学校教育」とあるが、実情と全く合っていない。教員不足、教職員の多忙化による被害を子どもたちが受け続けている状況でこのような「嘘」とも取れるようなことで「シビックプライド」と言われても全く賛同できない。特別な教育はいらない。最低限の教育を全ての子どもが受けられる環境を整えてほしい。子育て広場もスタッフ不足に悩んでいる。市民の善意に頼ってばかりでは先行きが不安である。</p> <p>児童館も、行財政構造改革プランで廃止が打ち出されている。淵野辺では公園内に公共施設を建設し、跡地売却等により子どもの居場所を減らす計画が進められている。実態と合った計画内容に見直してほしい。</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、子ども・子育て施策、教育施策、まちづくりを検討していく上での参考とさせていただきます。</p>	ウ
21	<p>シビックプライドという言葉で私がイメージすることと、相模原市のシビックプライド条例は別物だと感じている。今回の向上計画も「シティプロモーション」の計画だと思う。しかもターゲットとなっている年代がある。</p> <p>シティプロモーションを否定はしないが、シティプロモーション計画を「シビックプライド」の「向上計画」とすることには、違和感を覚える。名前にターゲットとしている年代が気が付きやすいような工夫をしてはどうか。</p>	<p>本計画(案)は、「相模原市と関わりのあるみんな」が魅力を認知するとともに、市と一緒に更なる魅力の発掘と向上を図りながら、相模原市に誇りと愛着をもち、一体感を感じながら協働し発信することにより更に相模原市を良くしていこうという気持ちになれる取組を位置付け、効果的かつ計画的に推進するものです。</p> <p>なお、市民に限らず相模原市に</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
		<p>対するシビックプライドを持った方を更に増やすための重要な要素である対外的なシティプロモーションについても「シビックプライドの向上」に向けた取組として本計画に定めることとしております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	
22	<p>市内に居住していて最も強く感じることは、合併後に加わった地域（緑区）についてどうにも同じ街と発想することができず、合併からかなり経った現在でも別の街という印象しか浮かばない点である。</p> <p>そのため、シビックプライド向上の取り組みを行う際には、常に市域全体の一体感をもった取り組みが必要であると考えます。</p> <p>具体的には市民、市外の著名人あるいは在勤者、在学者、かかわりのある方々（相模原市と関わりのあるみんな）にプロモーションや情報発信をして頂くにせよ、市内の特定の地域に偏重するのではなく幅広い範囲をターゲットに選定すべきである。</p>	<p>基本施策にもありますように、市内における市民交流・観光交流の促進を図り、一体感の向上に努めてまいりたいと考えております。</p>	イ
23	<p>ここで指摘すべきことは、シティプロモーションで発信した情報が、「シビックプライドの対象ではなかった!」と、言うことではないか。</p> <p>市の資産として、自然・景観・企業・芸術家、タレント等人材・市民の貯蓄・・・まだまだ貴重な資産はあろうが、これらが誇れるシビックプライドの対象にはならない。</p> <p>市民（行政も含めて）が、時間をかけて創り上げてきた、色々なシステム・文化が顕在化したときに、それはシビックプライドの対象になるはずである。</p> <p>卑近な事例では、“市民通報アプリ<パッ！撮るん。>”。道路管理、公園管理業務を、市民と行政が協働している。</p> <p>この他にも31のコンテンツがあるようだが、</p>	<p>本市では、これまでシビックプライドの向上も意識したシティプロモーションを展開してきましたが、効果的な情報発信が不足し、本市の魅力が十分に伝わっていないことや市としての一体感が不足している面も見られました。</p> <p>本市の魅力とは、多様な主体との連携による取組によるものも含まれているものと考えており、本計画（案）の基本施策において市民等多様な主体との連携・協働による地域課題の解決、各区・地域の特性を生かした魅力的なまちづくりを掲げております。</p>	イ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
	<p>これらが市民レベルに降りてくれば、行政の「市民化」が達成できた文化として、プライドの対象になるだろう。シビックプライドとは何か？今一度、考察する必要がある。</p>		
24	<p>シビックプライドを評価する基準に、「市政の自立と持続可能性」を基準に考えると、将来像が明確になります。何から自立するか・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの自給自足。 ・食糧の自給自足。 ・行財政の自給自足。 ・さがみはら文化の自給自足。 <p>上記、自立の項目のうち、エネルギー改革は脱炭素社会の実現を含め、国を挙げての施策とされている。相模原市は残念ながら、周回遅れの進捗状況だが、“市民の貯蓄と市民の知恵”を投入し、市民と協働することで、RE100の実現や、再生可能エネルギーの導入を達成すれば、大きなシビックプライドに成長するだろう。</p> <p>このような、時勢にあった取り組みから始めるのが、市民に対する説得力や、共感を得る最善の策と考える。是非、実現の方向で、取り組んでいただきたい。</p>	<p>いただきましたご意見につきしては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	イ
25	<p>目標にスポーツだけでなく、芸術、文化も入れるべきである。人がつながっていくこと、心が満たされること、豊かに幸せに生きていくために芸術は必要不可欠である。(欧米では当たり前の価値観)</p> <p>公民館が小学校区に1館あり、ホールが点在している相模原の良さ、“もっと人とつながりたい”という市民、子育て世代、子供達の声をもっと聞いてほしい。</p> <p>きらびやかなモノだけでなく、身近な公園の充実(質、量共に、ボールあそびも自由にできる、など)こそまず取り組むべきでは。</p>	<p>本計画(案)は、「継続居住促進」、「認知度向上」、「転入促進」とシビックプライドの向上を目標としておりますが、基本施策の中で、自然や歴史、文化・芸術等の優れた地域資源・観光資源の発掘と磨き上げ、効果的な発信を挙げており、シビックプライドの向上に繋がるものと考えております。</p> <p>シビックプライド向上により、まちのために自ら関わろうとする気持ちを高め、人と人とのつながりが広がるよう、取組を進めて参りたいと考えております。</p>	イ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
⑤ 第4章 計画の推進に関すること			
26	<p>SNS上のインフルエンサーやY o u T u b e r、具体的にはキャンプや山歩きなどのアウトドアをメインに活動している方に呼びかけ、あるいはプロモーションも持ち掛け、市内のキャンプ場やハイキングコースを実際に訪れて頂き、それをネット発信していただく手法は取れないだろうか、と提案させて頂きたい。</p> <p>個々人の口コミの拡散に頼る手法も活用できなくはないが、そうした口コミを一気に拡散させるきっかけとなる、いわゆる「バズる」状況というものを意図的に生み出すのは不可能ではないが非常に難しい(例えばアスリートによる超絶技巧等)。</p> <p>それ故にインフルエンサーやY o u T u b e rを巻き込んだプロモーションは必要であると考えます。</p> <p>なお、当然ながら迷惑系・炎上系といった根本的にシティプロモーションにそぐわないインフルエンサーやY o u T u b e rを、間違っても起用せぬ様に注意する必要があることを十分留意すべきである。</p>	<p>本計画(案)の推進手法において掲げております、「各種SNS」や「メディアリレーション」の取組において、ご意見にありますような取組も検討してまいります。</p>	イ
⑥ その他			
27	<p>『シビックプライド』は、パブリックコメントのことを友人から聴いて初めて知った。「広報さがみはら」や市のホームページをよく見ていれば知っていたと思うが。</p> <p>自治会を通じて必要な情報を流すことも検討してはどうか。</p>	<p>パブリックコメントにつきましては、広報さがみはら12月15日号にて実施をお知らせするとともに、同日より市ホームページへの掲載、まちづくりセンターや公民館での資料配架、配布を行い周知に努めたところです。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	ウ
28	<p>淵野辺駅南口の施設統合の話を知っていますが、統合することにより、文化や芸術を行うホールが少なくなってしまうのはとても残念に思うし、むしろ新たなホール等も有る施設を作ってほしい。</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、今後の文化・芸術施策を検討する上での参考とさせていただきます。</p>	エ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
29	南市民ホールでの色々なことに関して、なくなっ ては困る。 文化がなくならないためには丁度良い大き さ、交通の便の良さではとても良いホールであ る。なくさないでいただきたい。		エ
30	私は相模原でお芝居を観ている。 この度、南市民ホールが無くなってしま う話を聞いたのだが、市民の文化の低下につな がってしまふ気がする。		エ
31	市民ホールは絶対に残してほしい。修理費は 無駄な費用を見直して当ててほしい。		エ
32	住んで20年になるが、無計画な乱開発が進 んだせいか、道路は狭くて整備されていなくプ ライドは持てない。いまだに狭い土地に密集し て家が建てられ、住環境は改悪の一途、これ で安全安心なまちづくりを推進しているとい えるのだろうか。近い将来空き家問題やごみ屋敷 問題も見え見えである。考えていただきたい。	いただきましたご意見についま しては、今後の参考とさせていただきます。	エ
33	西大沼の林を保存してほしい。		エ